

2023年3月27日

環境のミカタ株式会社と「グリーンローン」の契約を締結

当金庫ではSDGsへの取り組みの一環として、環境のミカタ株式会社(代表取締役 渡辺 知良)に対し、静岡銀行がアレンジャーとなるシンジケーション方式による「グリーンローン※」の契約を締結しましたので、その概要をご案内します。

※資金用途がグリーンプロジェクト(地球温暖化対策や自然資本の劣化の防止等に資するプロジェクト)に限定されるローン。グリーンローンとしての適合性について、外部レビューの取得が推奨されている。

1. **契約日** 2023年3月27日(月)
2. **組成金額** 986,000,000円
3. **参加金融機関** 静岡銀行、しずおか焼津信用金庫、島田掛川信用金庫、商工組合中央金庫
4. **環境のミカタ(株)の取り組み** (詳細は(株)格付投資情報センターの「評価書」をご参照ください)

○同社は、1975年の創業以来、企業理念「できることは、もっとある」のもと、産業廃棄物の収集運搬・処分、リサイクルや、行政からの受託による「環境コーディネート事業」などを展開されています。

また、廃棄物の処理にとどまらず、原料化(ペレット)、燃料化(RPF)、堆肥化、廃棄物を利用した発電に取り組むなど、「価値のないものを資源に変える」活動を通じて、地域の環境問題の解決に貢献されています。

○今回、同社が古紙・廃プラのリサイクルを促進するRPF※製造設備を新設するための資金として、静岡銀行がアレンジャーとしてシンジケートローンを組成し、同社とグリーンローン契約を締結しました。

※おもに産業系廃棄物のうち、マテリアルリサイクルが困難な古紙および廃プラスチック類を主原料とした高品位の固形燃料

○本シンジケートローンの組成を通じて、SDGsの目標達成に資する同社の事業活動を支援するとともに、今後も持続可能な社会づくりに向けてESG金融の推進に取り組む方針です。

<本グリーンローンの対象となるプロジェクトの概要>

内容	RPFを製造・販売するための廃棄物の固形燃料製造施設の新設	
目的・効果	RPF製造設備を新たに導入することで、RPFを増産し、廃プラなどの資源利用を促進する。これにより同社のリサイクル率は90%から94%へ向上し、最終処分量の削減効果が期待される	
関連するSDGs	 12 つくる責任 つかう責任	 13 気候変動に 具体的な対策を